

豊橋市公共施設等総合管理計画 2026-2055（案）意見募集結果

1. パブリックコメントの概要

- (1) 意見募集期間 令和8年1月19日（月曜日）から令和8年2月20日（金曜日）17時15分
- (2) 意見提出者数 3人（うち個人：3人、法人その他の団体：0人）
- (3) 意見提出数 6件（持参：0件、郵送：0件、電子メール：0件、ファックス：0件、意見提出フォーム：6件）

2. 意見の概要と市の考え方

寄せられた意見の内容および意見に関する市の考え方は次のとおりです。

番号	意見の概要	市の考え方
1	30年間で建物系施設を20%削減する方針には賛同する。	計画を推進していくうえで参考とさせていただきます。
2	アンケート（問7）で最多の41.1%が「駐車場があれば利用する」と回答しているが、回答者の年代構成を2055年に照らすと、50歳代（22.6%）は80～90歳代、40歳代（20.3%）は70～80歳代、60歳代（17.8%）は90～100歳代となる。過半数が計画期間中にマイカーを運転できなくなり、この回答は成り立たない。本計画の推計によれば2050年の高齢化率は約37%（老年人口109,000人 / 総人口291,000人）に上昇する。マイカー移動を前提とした施設再配置は計画後半に機能しなくなるため、マイカーに依存しない移動保障の方針を明記すべき。	参考意見として受け止めさせていただきます。
3	豊橋市では令和7年9月に休日の中学校部活動が廃止され、地域クラブ活動に移行した。令和9年以降は平日も検討される。地域クラブの活動場所の需要は増加するが、本計画書には「部活動」「地域移行」の記載が一切ない。学校体育施設クラブハウス（26カ所）の「最適化検討」やスポーツ施設全体の「再編を検討」は、この需要増加と矛盾する。市自身が推進中の施策を踏まえた見直しが必要。	計画を推進していくうえで参考とさせていただきます。
4	校区市民館や生涯学習センターでのダンス・舞踊・カラオケ等は高齢者の貴重な運動・交流機会である。本計画では校区市民館（50カ所）と生涯学習センター（22カ所）を、1小学校区1公民館を基本に整理を検討する方針だが、徒歩圏の活動の場が失われれば、健康寿命の短縮、医療費・介護費の増大に直結し得る。施設維持コスト削減と社会保障費増大のバランスを評価すべき。	計画を推進していくうえで参考とさせていただきます。
5	大村校区市民館は大村小学校の敷地内にあり、第1避難所となる防災拠点であると共に、保護者や子どもを支える児童クラブの大切な場所である。一昨年の豪雨時は自宅に帰られない方の避難所になった。同じ校区内に北部生涯学習センターもあるが、第1避難所と児童クラブの存続について市はどのように対応していくのかお聞きしたい。計画を推し進める際には、施設を利用している方たちへの不安を払拭する施策を切に願う。	計画を推進していくうえで参考とさせていただきます。 コミュニティ関連施設は、災害時における既存の施設が果たしている役割を念頭に置いたうえで施設最適化を検討します。児童クラブは、小学校の余裕教室の活用も含めてあり方を検討します。

豊橋市公共施設等総合管理計画 2026-2055（案）意見募集結果

番号	意見の概要	市の考え方
6	<p>人口減少により施設数の過剰、既存施設の老朽化により維持管理費用が増大に。これらの問題解決には、既存施設を減らす方向で今後進むということであるが、コミュニティ関連施設等は、建てられた頃より利用頻度はかなり増えているのではないかと思う。生涯学習の普及、奨励により活動人口は増大しており、人口減少社会だから減らすという単純なものではない。サークル活動等で、場所が確保できないということも多々ある。その様な現状を考えて進めるべきである。</p>	<p>計画を推進していくうえで参考とさせていただきます。</p>